

東日本大震災で家族を失った母と息子による

親子かたりべとキャンドルツリー

◆2024年3月10日(日曜)

会場 はまこら（浜松市市民協働センター）第1・第2研修室
浜松市中央区中央 1-13-3

13時30分（13時受付～）スタート
命のかたりべ 高橋匡美（母）
命のかたりべ 千葉颯丸（息子）
15時50分
参加者全員でキャンドルツリー作成
16時30分 終了

ボランティア募集

当日の運営のお手伝いをお願いします。

集合時間 12時30 解散17時

東日本大震災から13年。初の親子語り部を南海トラフ地震想定エリアである浜松の減災のため開催します。若い世代の方にも聞いて欲しい。また、災害が起きたとき自分で逃げることが出来づらい身体的、精神的な弱者の方やその関係、家族の皆さんにも二人の経験を聞いて頂きたいと願っています。

この日は3月11日の前日。キャンドルツリーをつくり追悼。世界平和を皆で祈りましょう。



命のかたりべ 高橋匡美（たかはし きょうみ）1965年宮城県石巻市生まれ
東日本大震災で両親を亡くし息子と一緒に発見。一時は深刻なうつ病を患うも3年後
勇気をふり絞って出場したメモリースピーチコンテスト全国大会で銀賞を受賞。20
15年3月より「命のかたりべ」とし、以来、石巻を拠点に290回（2023.12現在）
全国で講演活動を行う。2023年静岡市の学校の先生がたにも講演、好評を博し、
南海トラフ地震想定エリアである静岡県での減災に向けても宮城県復興支援・伝承
課より助成も受け精力的に活動している。



命のかたりべ 千葉颯丸（ちば かぜまる）1993年宮城県塩竈市生まれ
この悲劇的な出来事により母親が精神的にも苦しんでいたため、震災直後からしばら
くは母親をサポートすることで精一杯だった。また、1年後将来のキャリアとして学
んだことや経験したことを社会に生かすことを決意し、宮城を離れて東京にある国際
基督教大学に進学、その後東京大学公共政策大学院へ進学後、現在は外資系IT企業
で勤務。震災後のほとんどの期間を東京で生きてきたため、母親とは違う、震災や祖
父母の死に対して向き合ってきた経験を語る。

◆ボランティアお申込み・お問い合わせ先（締め切り3月3日）

命のかたりべ 静岡窓口

ボランティアコーディネーター中村道代

080-1173-2716

wayplanningoffice@gmail.com

主催：命のかたりべ

後援：(福)浜松市社会福祉協議会

協力：常葉大学地域貢献センター、浜松市市民協働サポートグループ（はまこら指定管理者）



お申し込み方法

- ①QRコードから
- ②Eメールの場合、お名前・お電話番号をおねがいします